

糖尿病における危険因子

糖尿病患者は、一般集団よりも死亡と心血管転帰のリスクが高いことが知られていますが、5つの危険因子（糖化ヘモグロビン値の上昇、LDLコレステロール値の上昇、アルブミン尿、喫煙、血圧の上昇）が目標範囲内にあった2型糖尿病患者は、死亡、心筋梗塞、脳卒中のリスクの超過がないことが「New England Journal of Medicine」誌に掲載されました。

